

令和2年度
事業報告

公益財団法人
黒部市吉田科学館振興協会

令和2年度（2020年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- ・ 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場
- ・ 自然の神秘に感動し創造の喜びを知る場
- ・ 広く市民の科学・文化活動の場
- ・ 新しい教育方針に基づく教育補助活動の場
- ・ 市民参画による生涯活動の場

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和2年度（2020年度）の主な事業内容

令和2年度の特別展及びオリジナルプラネタリウム番組は、「黒部の水循環」をテーマに開催した

- ・ 特別展「水になってくろべ一周の旅」
（期間：7月18日～9月6日）
- ・ オリジナルプラネタリウム番組
「ウォー太郎と水めぐりの旅～わき水はどこから来る？の巻～」
（期間：7月18日～翌年1月22日）

令和2年度の各事業参加者数については以下の通り。

事業	参加者数
日常の科学対象事業	7,481 人
地域の科学対象事業	3,378 人
宇宙の科学対象事業	7,006 人
特別事業	7,392 人
その他事業	2,106 人
延べ利用者数計	27,363 人
カウンター数	11,443 人

(1) 日常の科学

①講座体験事業

・サイエンスショー（常時開催）

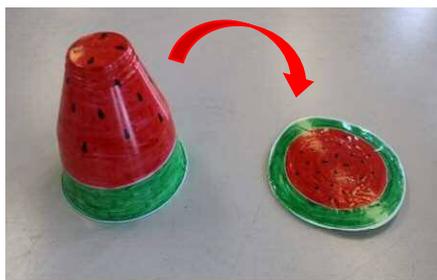


「光のふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日1回、土日祝日2回、毎回15分程度）。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、5月中旬まで開催できなかったが、5月下旬から席数を減らし、密を避けるなどの方策をとりながら、「水のふしぎ」（5～9月）、「光のふしぎ」（10～1月）、「もののふしぎ」（2～3月）の、3つのテーマをもとにサイエンスショーを行った。

・団体用工作教室



プラコップコースター
（熱を加えると変形する）

保育園、小学校等の遠足、校外学習のプログラムの一つとして、工作教室を実施した。

今年度は、所要時間30分～1時間で7種類の工作から選んでもらい、「かさ袋ロケット」の2団体、「プラコップコースター」の4団体で実施した。

特に「プラコップコースター」は、プラコップが熱で変形することを想像しながら絵や模様を描き、それを完成品で確かめるときに驚きがあり、好評であった。

②展示事業

・児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を9月から10月にかけて開催した。今年度は新型コロナウイルス感染等の影響で、夏休みが2週間余り短縮されるという状況であったが、沢山の優秀な作品が出品された。



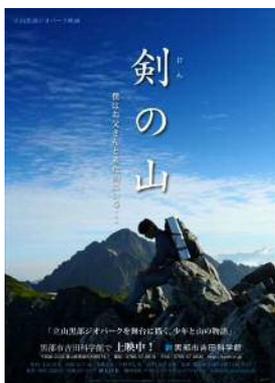
写真左：第15回少女
発明くふう展

写真右：第15回黒部市小・
中学校児童生徒
科学作品展覧会

(2) 地域の科学

① プラネタリウムドーム事業

- ・ 立山黒部ジオパーク映画「^{けん}剣の山」



プラネタリウムでは、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」を上映している。また、前年に続き、市内全小学校の6年生の授業の一環として、「剣の山」の学習投映を実施した。また、2019年度に行った学習投影のアンケート結果を、2020年5月24日-28日に開催された JpGU - AGU Joint Meeting 2020 で発表した。

② 講座体験事業

- ・ ジオ&みずはくツアーの実施



黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、ボランティアガイドと共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について体験させた。

令和2年度は、定員を15名とし、例年通り全5回実施した。

写真：ジオ&みずはくツアー
「扇状地の春を散策しよう」(3月14日実施)

- ・ ジオパーク自然教室



立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク自然教室」を実施した。本教室を年5回実施し、生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。自然の観察や遊びを通して参加者に立山黒部ジオパークの自然を体験させた。

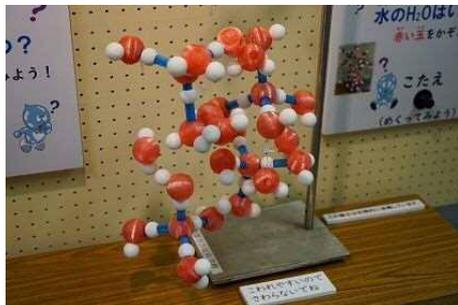
令和2年度は、定員を20名とし、例年通り全5回実施した。

写真：ジオパーク自然教室
「黒部の雪を楽しもう」(1月31日実施)

③調査研究事業

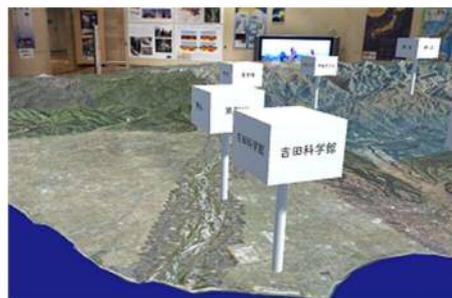
・3D プリンターを用いた教材開発

3DCG ソフトウェア Blender を用いて水・氷・水蒸気の分子の 3D モデルを作成し、3D プリンターを用いて分子模型を作製した。分子模型は、特別展「水になってくろべー周の旅」にて展示され、ミクロな視点で水の性質を解説するための資料として活用された。



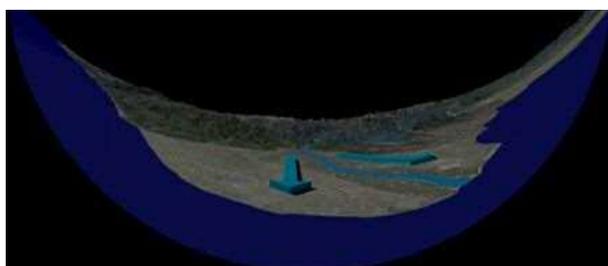
・AR コンテンツの作製

スマートフォンを用いた AR (オーグメンテッド・リアリティ) コンテンツを作成した。本 AR 教材では、床面に立体的に表示された黒部の地形の上を自由に歩く体験ができる。特別展期間中に、毎日、ミニイベントとして来館者に体験させた。



・3DCG を用いたドーム映像制作

3DCG ソフトウェア Blender を用いて黒部の地形を俯瞰する 3DCG 映像を作成した。本 CG 映像は、オリジナルプラネタリウム番組「ウォー太郎と水めぐりの旅」の説明パートの映像として挿入された。



・学会発表

3D プリンターや AR、ドーム映像を用いたコンテンツの活用について、複数の学会で発表した。実績一覧は、令和 2 年度研修派遣等報告を参照のこと。

(3) 宇宙の科学

①プラネタリウムドーム事業

- ・一般投映（平日は1回投映、土日祝日は3回投映）

「ウォー太郎と水めぐりの旅～わき水はどこから来る？の巻～」

（小学生～一般向け番組）

（黒部市吉田科学館オリジナル番組・令和2年度制作）

期間：令和2年7月18日～令和3年1月22日

内容：黒部の名水キャラクター「ウォー太郎」と一緒に、黒部川扇状地の水環境を巡りながら、地下水の仕組みや水の循環について紹介する番組を制作し、投映した。（オリジナル番組 31作目）



「月夜のふしぎな物語～カノンと水辺の仲間たち～」（小学生～一般向け番組）

（黒部市吉田科学館オリジナル番組・平成22年度（2010年度）制作）

期間：令和3年1月23日～令和3年7月16日

内容：都会から黒部に引っ越してきたばかりの少女と水辺の生き物たちとの交流を描く物語。番組内では、月食の仕組みについても紹介した。

「紙兎ロペ ネットバレすつと、おれらロケット飛ばすつてマジっすか!？」（子供向け番組）

期間：令和2年5月21日～令和2年12月4日

内容：アニメ「紙兎ロペ」の登場人物たちが、ペットボトルを使った巨大ロケット製作に挑み、宇宙を目指す物語。番組内では、日本の宇宙開発についても解説。

「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」（子供向け番組）

期間：令和2年12月5日～令和3年4月29日

内容：主人公の少年が流星群を見に行くための小さな冒険に出かける物語。番組内では、流星群が発生する仕組みについても解説。

「Feel the Earth ～Music by 葉加瀬太郎～」（一般向け）

期間：令和2年10月24日～令和3年7月16日

内容：ヴァイオリニスト・葉加瀬太郎が奏でる音楽とともに、太陽系の惑星について紹介。地球の尊さを感じさせる番組。



その他、前年度に引き続き、以下の番組を投映した。

「モジャコの旅～富山湾の不思議な水～」(オリジナル番組) 令和2年5月21日～7月17日

「GRAVITATION (グラビテーション)」 (一般向け・科学番組) 令和2年5月21日～7月17日

・学習投映

幼稚園・保育園、小・中学校の理科教育の一環として学習投映を行った。小学4年生の学習投映、中学3年生の学習投映では、学習指導要領に基づいた内容を、職員による生解説で投映した。幼児投映では、夏の星空や七夕に関する物語を解説した。

・プラネタリウムドーム多目的利用

利用者の多様化を目的として、ドームを多目的利用するイベントを実施した。具体的には、大人を対象に音楽メインとしたヒーリングプログラム（癒しのプラネタリウム、熟睡プラ寝たリウム）、プラネタリウム解説員・田端英樹氏によるプラネタリウムショー、シンセサイザー奏者・滝沢卓氏による生演奏コンサート（星と音楽の夕べ）を開催した。

星と音楽の夕べでは、生演奏とともに、出演者の滝沢氏がドローンで撮影した富山の映像をドーム内に投映した。



星と音楽の夕べ
～月夜のプラネタリウムコンサート～
(9月21日実施)

②講座体験事業

・天文教室の実施

月1回の天文教室のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。6月の部分日食は、観察会が行わなかったが、YouTubeでのライブ中継を行なった。



③調査研究事業

・デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

デジタル式プラネタリウムを使ったオリジナル番組の制作を実施。全天周カメラとドローンを使って撮影した動画や3DCGの導入など、番組のクオリティを高めることを目標に、番組制作技術の向上に努めた。



「ウォー太郎と水めぐりの旅」の一場面

(4) 特別事業

①富山の天文愛好家 写真展

(期間：5月21日～6月21日)

体験型の常設展示の縮小に併せ、接触感染のリスクが少ない写真展を開催した。富山県内で活動する天文関係の6団体より提供された天体写真を展示した。



写真展開催風景

②特別展

特別展「水になってくろべ一周の旅」

(期間：7月18日～9月6日)

特別展では、湧き水のしくみや、水にまつわる様々な現象について、触って学べる実験装置を展示した。水のはたらきを体感できる黒部のスポットを紹介するパネルも設けた。また、土日祝日には、学生アルバイト地域学芸員を常駐させ、解説や消毒等を担当させた。



特別展開催風景

③特別展連携講演会

(8月23日実施 講師：士別市立博物館 特別学芸員)

特別展と連携させて講演会を実施した。水や氷に関する科学的な解説と併せて、人工雪結晶づくりや、過冷却水実験、復氷実験など、体験型の実験を行った。



講演会「わくわく！雪と氷の楽しい実験」

④特別展連携バスツアー

(9月6日実施 講師：野寺・長谷川)

特別展と連携させてバスツアーを実施した。導入で特別展を案内したのちに、特別展内で紹介されたスポットを巡った。客層は、小学生や幼児、保護者が多く、ジオ&みずはくツアーと異なる層に黒部を案内できた。



バスツアー「水の旅を体験しよう」

⑤科学館ウィーク☆2020

(11月21日～12月6日実施)

科学館の3つのコンセプトをテーマに、イベントを開催。例年は、「科学館まつり」というタイトルで、11月の週末(2～3日間)に開催していたが、今年度は開催期間を2週間に延長し、イベントを分散して行なった。期間中は、オリジナルプラネタリウムの特別投映や、ワークショップ、クイズラリーなどのイベントを実施した。

また、小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセルが12月に地球帰還の予定(12月6日無事帰還)であったことから、「はやぶさ2」関連の工作教室、プラネタリウム等もあわせて実施した。



⑥インターネットを使った動画配信

・プラネタリウム番組の無償公開

自宅でプラネタリウム番組を楽しんでもらうことを目的に、科学館のオリジナル番組の無償公開を YouTube にて行なった。

立山黒部ジオパーク映画「剣の山」無償公開

(5月15日～29日公開 視聴回数 13,230回)

黒部市吉田科学館オリジナルプラネタリウム番組無償公開

「しばんば～新治村と赤い星の物語～」

「お光化身譚～宇奈月の大蛇伝説～」等 計5本

(6月1日～7月12日公開 視聴回数 178回)



・科学館紹介動画の無償公開

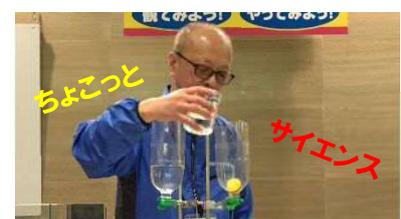
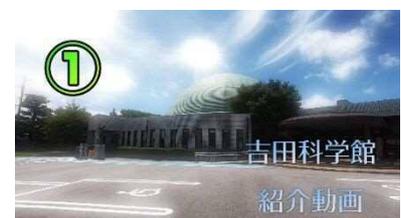
科学館紹介動画(制作:黒部市地域おこし協力隊)や、サイエンスショーの紹介動画を YouTube にて公開した。

科学館紹介動画(計3本)

(8/1～公開中 視聴回数 373回)

ちょこっとサイエンス(計4本)

(5/24～公開中 視聴回数 1,040回)



令和2年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業 ※自/共…自主事業、共催事業の略

事業名	期間	自/共	内容	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		前年比
講座 体験 学習 習事業	工作教室	通年 自	工作教室(学校行事等の利用)	9回	382人	10回	294人	9回	247人	84.0%
		通年 共	黒部少年少女発明クラブ	11回	284人	10回	184人	14回	146人	79.3%
		通年 共	あこやへのDE体験の風をおこそう!(あこやへの主催)	3回	958人	2回	521人	3回	1,374人	263.7%
サイエンスショー	通年 自	水のふしぎ/光のふしぎ/もののふしぎ	277回	5,025人	247回	5,174人	237回	3,283人	63.5%	
展示事業	展示	6/27~7/5 共	魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回	1,497人	1回	1,181人	1回	452人	38.3%
		9/11~9/22 共	第15回黒部市少年少女発明くふう展	1回	1,338人	1回	1,486人	1回	1,218人	82.0%
		9/26~10/6 共	第15回黒部市小中学校児童生徒科学作品展	1回	745人	1回	902人	1回	761人	84.4%
平成30年度			親子工作教室	5回	160人	5回	175人			
			村椿科学工作クラブ	8回	76人	9回	51人			
			第3回JAL折り紙ヒョッキ全国大会 黒部予選会	1回	85人	1回	86人			
のべ利用者数合計					10,550人		10,054人		7,481人	74.4%

地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		前年比
講座 体験 学習 習事業	ジオパーク関連事業	通年 自	ジオパーク自然教室	6回	135人	5回	127人	5回	62人	48.8%
		通年 自	ジオ&みずはくツアー2020	5回	93人	4回	83人	5回	50人	60.2%
		8月 共	くろべ水の少年団	7回	208人	7回	199人	4回	41人	20.6%
展示事業	展示	~4/14 共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	2回	1,975人	2回	686人	2回	1,244人	181.3%
		10/18~25 共	巡回写真展「花鳥風月と富山の水展」	1回	930人	1回	752人	1回	671人	89.2%
		10/31~11/29 共	巡回写真展「すばらしい自然を」	1回	2,574人	1回	1,046人	1回	1,310人	125.2%
平成30年度			巡回写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	1回	5,356人	1回	4,195人			
			巡回写真展「第58回富士フィルムフォトコンテスト」	1回	1,793人	1回	1,562人			
			黒部川調査隊(黒部川水のコンサート&フェスティバル事業)	1回	19人	1回	18人			
令和元年度			ジオサイエンスショー			6回	324人			
のべ利用者数合計					13,083人		8,992人		3,378人	37.6%

宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		前年比
プラネタリウム ドーム 事業	プラネタリウムの 多目的 利用	自	一般放映および学習放映など(放映日数:209日) (大人:2,827人 高校・大学生:97人 子供:3,584人 合計:6,508人) (孫とおでかけ事業含む)	870回	16,005人	760回	15,626人	412回	6,508人	41.6%
			◆一般放映	観覧料	1,783,260円	観覧料	1,556,010円	観覧料	613,270円	39.4%
			◆一般放映	科学番組	14,773人	14,261人	5,493人	38.5%		
			子ども番組	32回 543人	67回 1,285人	15回 55人	4.3%			
			ヒーリング番組	239回 6,607人	208回 6,827人	116回 2,084人	30.5%			
			オリジナル番組	—	—	67回 927人	—			
			オリジナル再番組	116回 1,424人	129回 1,926人	75回 1,006人	52.2%			
			職員生解説番組	97回 725人	45回 279人	39回 417人	149.5%			
			立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	116回 2,609人	103回 1,922人	5回 106人	5.5%			
			オリジナルプラネタリウムフェスティバル	246回 2,865人	167回 1,671人	63回 637人	38.1%			
			◆学習放映	21回 978人	20回 1,055人	20回 888人	84.2%			
			◆幼児放映(幼児)	3回 254人	9回 310人	4回 127人	41.0%			
			癒しのプラネタリウム	2回 107人	2回 72人	2回 42人	58.3%			
星と音楽の夕べ	1回 190人	1回 75人	1回 52人	69.3%						
熟睡プラネタリウム	1回 40人	2回 270人	2回 94人	34.8%						
爆笑! 星兄プラネタリウムショー	2回 284人	2回 212人	2回 134人	63.2%						
天文普及事業	第3土曜日	自	天文教室	13回	489人	12回	851人	9回	173人	20.3%
	8/1	自	初めての天体望遠鏡教室	1回	21人	1回	21人	1回	3人	14.3%
平成30年度			マタニティプラネタリウム	2回	86人	2回	100人			
			キッズぶらね	3回	134人	4回	214人			
			星空の下でアロマ自力整体	2回	31人	1回	14人			
			石田小学校天文クラブ	8回	79人	9回	91人			
			名水の里くろべこども自然体験村(黒部市)	1回	60人	1回	60人			
			灯台まつり	1回	15人	1回	35人			
			星空トロッコ	1回	36人	1回	49人			
のべ利用者数合計					17,577人		17,690人		7,006人	39.6%

特別事業など

事業名	期間	自/共	内容	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年比
展示	5/21～6/21	自	富山の天文愛好家 天体写真展			1回 389人	
	8/1～30	自	地域おこし協力隊の黒部発見記～県外出身者がちゃべちゃべと～			1回 1,429人	
	12/5～1/31	自	巡回展示:こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版			1回 1,357人	
	3/13～5/5	自	ミニ展示「くらべてみよう! 黒部の鉄道」			1回 780人	
特別展	7/18～9/6	自	特別展示「水になってくるべ一周の旅」			1回 2,326人	
工作	9/19	共	青少年のための科学の祭典 おもしろ科学実験in富山	1回 50人	1回 898人	1回 55人	6.1%
特別展イベント	7/18～9/6	自	AR体験			52回 612人	
	8/23	自	特別展示連携講座「わくわく! 雪と氷の楽しい実験」			2回 38人	
	9/6	自	特別展連携ツアー「水の旅を体験しよう」			1回 17人	
科学館ウィークイベント	11/21	自	プラコップでコースターをつくろう			1回 63人	
	11/22	自	小惑星リュウグウをつくろう			1回 46人	
	11/21～12/6	自	クイズラリー			8回 192人	
	12/6	自	クリスマスリースをつくろう	1回 71人	1回 80人	1回 88人	110.0%
平成30年度			企画展「火星ってどんな星?」	1回 7,031人			
			展示「もし火星人がいたら?みんなでかいてみよう!」	1回 2,477人			
			立山黒部ジオパーク第11回大地を探るルネ講演会「世界の岩なだれとジオパーク」	1回 48人			
			日本黒部学会特別講演会「黒部峡谷」	1回 50人			
			全国同時七夕講演会2018「星空への招待」	1回 133人			
			ミニ講演会「はやぶさ2、只今リュウグウ到着」	1回 52人			
			英語でプラネタリウム	1回 13人			
			闇の封印-プラネタリウムで感じる闇と光の世界-(主催:黒部市美術館)	1回 58人			
			はやぶさ2応援イベント「なぜなに「はやぶさ2」何でも質問教室!」生中継	1回 32人			
			GWイベント天文体験	1回 94人			
		GWイベントクイズラリー	1回 274人				
令和元年度			企画展「月のふしぎ」		1回 10,453人		
			企画展「星空ウォーカー 遠くをのぞくと昔がわかる!?!」		1回 7,574人		
			企画展「月のふしぎ」関連イベントクイズラリー		1回 292人		
			オリジナルプラネタリウム番組ポスター展～平成をふりかえる～		1回 6,745人		
			講演会「層気候研究の最前線～日本層気候協議会の軌跡～」		1回 35人		
			オーロラ上映&トークライブ		2回 209人		
			特別講演会「大伴家持の時代には立山の高さは何mだったか?～測地学と立山隆起～」		1回 42人		
			GW イベント工作	3回 455人	3回 208人		
			星座早見盤づくり		3回 174人		
			GW JAFイベント		1回 248人		
			GW カプトムシの幼虫プレゼント		1回 184人		
			施設巡りバスツアー		1回 36人		
			お盆イベント工作	1回 153人	4回 355人		
			オリジナル番組人気投票		1回 1,843人		
			夏休み! 黒部市6館スタンプラリー		1回 126人		
			ジオパーク交流企画(萩ジオパーク)		1回 10人		
			くろべフェア(ジオサイエンスショー)		2回 313人		
		科学館まつり(プラネタリウム以外のイベント)	1回 1,757人	2回 4,519人			
のべ利用者数合計				12,748人	34,344人	7,392人	21.5%

その他

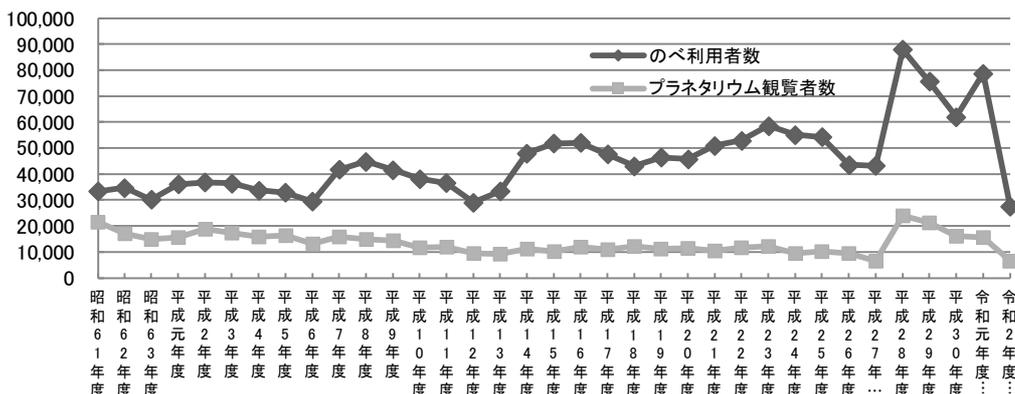
事業名	期間	自/共	内容	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年比
その他			各部屋の利用等	8,069人	7,582人	2,106人	27.8%
のべ利用者数合計				8,069人	7,582人	2,106人	27.8%

	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	前年比
日常の科学対象事業	10,550人	10,054人	7,481人	74.4%
地域の科学対象事業	13,083人	8,992人	3,378人	37.6%
宇宙の科学対象事業	17,577人	17,690人	7,006人	39.6%
特別事業	12,748人	34,344人	7,392人	21.5%
その他事業	8,069人	7,582人	2,106人	27.8%
のべ利用者数計	62,027人	78,662人	27,363人	34.8%
カウンター数	30,192人	30,375人	11,443人	37.7%

年度別のべ利用者数・観覧料

令和3年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
合計	1,593,042 人	468,197 人	55,964,760 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
令和2年度(4/1～5/20プラネタリウム休止)	27,363 人	6,508 人	613,270 円
前年度比	34.8 %	41.6 %	39.4 %



令和2年度 研修派遣等報告

▼学会・研究会発表

月日	内容	主催	担当職員
5/24-28	JpGU - AGU Joint Meeting 2020(オンライン開催) 科学館で上映する「ジオパーク映画」の教育効果	日本地球惑星科学連合	野寺
8/16-18	第34回天文教育研究会(オンライン開催) 3Dモデルを用いた科学教育	日本天文教育普及研究会	野寺
9/26-27	第9回小型衛星の科学教育利用を考える会(オンライン開催) 3Dプリンターを用いた宇宙教育	小型衛星の科学教育利用 を考える会	野寺
11/8	日本地学教育学会第74回全国大会(オンライン開催) 科学館における3Dプリンターを用いた地学教育	日本地学教育学会	野寺
1/23	2020年度日本天文教育普及研究会中部支部会(オンライン開催) 3Dプリンターの天文教育利用	日本天文教育普及研究会 中部支部	野寺

▼講師派遣・連携協力状況

月日	内容	主催	担当職員
7/23	はつらつ公民館学び支援事業	黒部市立中央公民館	野寺
3/16	高岡高校探究科学科1年生の野外研修	富山県立高岡高等学校	野寺・国香

▼執筆

	内容	発行元	担当職員
寄稿	「光年」富山の天文愛好家 写真展の開催報告	富山県天文学会	野寺
寄稿	「みんなの地学」第74回全国大会開催報告	日本地学教育学会	野寺

行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和2年6月30日	富山県知事	令和元年度事業報告及び収支決算届
令和3年3月31日	富山県知事	令和3年度事業計画及び収支予算届

登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
評議員 大丸 勝男	令和2年5月24日死亡	令和2年9月16日登記
評議員 熊野 勝巳	令和2年6月10日就任	令和2年9月16日登記
理事 國香 正稔	令和2年6月25日就任	令和2年9月16日登記

理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和2年5月20日	1 令和元年度事業報告及び収支決算について 2 令和2年第1回評議員会の開催について	役員(理事9名)全員の書面表決での決議
令和2年5月28日	1 令和2年評議員選定委員会の外部委員の選定について	役員(理事9名)全員の書面表決での決議
令和2年7月10日	1 代表理事選定について 2 副理事長選定について	役員(理事10名、監事2名)の内、理事9名出席、監事1名出席 議案について全員一致で承認
令和3年3月25日	1 専決処分の承認について 2 令和2年度収支補正予算(第2号)について 3 令和3年度事業計画及び収支予算について	役員(理事10名、監事2名)の内、理事9名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認

評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和2年6月25日	1 令和元年度事業報告及び収支決算について 2 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会理事の選任について	評議員3名全員が出席 議案について全員一致で承認